

にて十三萬石豊前一國の内は大名衆竹中源助、扱其外御臺所入、

〔倭名類聚抄五國郡〕豊前國國府在京都郡在

〔豊前志五仲津郡〕在廳屋鋪

草場村に、在廳屋鋪と稱ふ處あり、是れ國府の蹟なるべし、○中略按ふに、在廳は國府に在る土著の

官人を云ひ、其の官人の居る府をも、在廳と云ふなり、神宗定前記官幣宮別國魂宮が所藏の天文十年

大内家の文書には、太宰府をも在廳と云へり、出雲風土記、兵部式、三代實錄等に、國廳と見えたる

も、在廳と同じく國府を云ふなり、扱和名鈔に、國府在京都郡とあるは、甚疑し、若くは誤には非る

か、或は往方京都郡なりしを、後に此の郡に移せる事のありしか、後紀に、延暦廿三年正月壬寅、遷

但馬國治於氣多郡高田郷、同四年十一月乙酉、遷攝津國治於江頭など見えたるは、國府を遷せる

例なり、三代實錄に、出羽國府但總社、國分寺、續命院など、皆當郡にて、近く隣村なるに、京都郡には、

然る名の存れる事も聞えざるは、是は必源順ぬしの誤とぞ所思おもひ、且草場、國作兩村の西方に、高

貴人の墳墓と思しきもの廿三あり、是れ國司四等の官人等を葬りたる所にて、も有りぬべく思

ゆれば、旁國府は草場村なりし事疑なかるべし、

〔倭名類聚抄五國郡〕豊前國略註 管八略註 田河 企救岐多京都美夜仲津 築城豆伊上毛加牟下毛豆

字 佐 〔延喜式二民部十二〕豊前國上管 田河タカ企救キク仲津ナカツ築城ツキ右爲遠國

〔皇國郡名志〕豊前國八郡 田河タカ猪膝イノ彦山ヒコ權現イ山ヤマ筑前界チクゼン界カイ小倉コクラ

田河タカ猪膝イノ彦山ヒコ權現イ山ヤマ筑前界チクゼン界カイ小倉コクラ 企救キク川原市カハ石イシ司シリリ筑前界チクゼン長門ナガト内海ウチノ向ムカ

京都キョト刈田キリタツナシキツナシキ天神テンジン企救キク並郡ナミ仲津ナカツ山ヤマ内裏ウチノ門カド司シリリ筑前界チクゼン長門ナガト内海ウチノ向ムカ

築城ツキ山ヤマバカリバカリ在郷イニ無シシ國中クニナカ上毛カミモ松マツ江エ村ムラ限リミ下毛シモモ細ホソ長ナガシ